

ユズの系統選抜に関する研究

第2報 弱毒CTVを接種したユズ「永野」の特性

谷本佑・矢野臣祐*・又川浩司**・田中満稔

Study on Selected Strains of Yuzu (*Citrus junos* Sieb. ex Tanaka)
II. Characteristics of Yuzu 'Nagano'
Inoculated with Mild Strains of Citrus Tristeza Virus

Yuu TANIMOTO, Shinsuke YANO, Koji MATAGAWA and Mitsutoshi TANAKA

要 約

カンキツトリステザウイルス（以下、CTV）を自然保毒し、果実外観が良好なユズ系統「高知果試選抜 1～5 号」（以下、「1～5 号」）が持つ弱毒 CTV の YM1～5、および旧農林水産省果樹試験場が選抜した弱毒 CTV の M16A をウイルスフリーにした「永野」に接種し、樹体および果実特性を調査した。

1. YM2 および YM3 を接種した場合、調査期間を通じてステムピッチング（以下、SP）発生度は低く、凸型こはん様症の発生も少ない傾向であった。樹勢、収量への影響は小さく、優良な弱毒 CTV 系統と考えられた。
2. YM1 を接種した場合、樹勢はやや弱く幹周肥大が緩慢であった。SP 発生度は中程度であったが、凸型こはん様症の発生は少ない傾向であった。よって、YM2 および YM3 に比べ樹体への影響がやや強いが、干渉効果が比較的高い弱毒 CTV であると考えられた。
3. YM4 を接種した場合、定植 7 年目以降に強い SP の発生がみえ始めた。凸型こはん様症の発生も他系統と比べ多い傾向であった。また、強い SP の発生がみえ始めてからは着花量、着果量および収量が少なくなり、果実も小さくなったため、強毒 CTV への干渉効果は低いと考えられた。
4. YM5 を接種した場合、樹勢は強く収量も多かった。定植 9 年目以降に強い SP の発生がみられ、凸型こはん様症の発生は他系統と比べやや多い傾向であった。よって、YM5 は極めて弱毒で、強毒 CTV への干渉効果は低いと考えられた。
5. M16A を接種した場合、SP 発生度は中程度であり、樹勢はやや弱かった。凸型こはん様症の発生は少ない傾向であった。

キーワード：ユズ、カンキツトリステザウイルス、こはん様症、ステムピッチング、干渉効果